

## 忘れられない思い出

Monlanee Srirakul  
August 1-12, 2016

SEND プログラムでは、東南アジアの留学生が日本で日本語や日本文化を習う機会を得ることができます。これはとても良いプログラムだと思います。二週間、留学生が京大生と色々な活動を共同でおこないました。例えば、京都府議場を見学したり、平等院や伏見稲荷を見学したり、和菓子の作り方を勉強したりしました。全員が日本語で話しているの、良い練習の機会でもあり、たいへん勉強になりました。

今回の留学で、日本の社会の中で暮らし、日本の文化やマナーをよりよく理解することができました。タイでは常にスプーンとフォークを使うため、当初、私は箸でご飯を食べることが苦手でした。2週間がたち、ようやく慣れてきたので、自信を持って箸で食事できると思います。また、日本語Ⅱのクラスを受講し、「サザエさん」というアニメを使って聴解の練習をしました。タイでは、日本語の聴解を練習する機会があまりなかったため、たいへん有益な授業だったと感じています。

このプログラムに参加したことで、責任感が育まれました。日本では、時間にとっても厳しく、バスや電車の来る時間が正確でした。常に時間を守らなければなりません。また、様々な国の外国人と共に勉強し、新しい友達が出来ました。私は京都と大阪で文化財などを見学したのですが、京都のほうが静かな町で魅力を感じています。さらに、京丹波町を訪れ、ニンジンやホウレンソウを収穫し、それらの天ぷらを食べたのですが、野菜好きでない私でも、これらの野菜がとても甘く感じ、たくさん食べることができました。美山かやぶきの里で餅つきの体験もしました。京丹波町では、素晴らしい景色も堪能でき、心が洗われるようでした。その後、花火の鑑賞に出かけ、花火自体の美しさに加え、浴衣を着た日本人女性たちがとても綺麗で印象的でした。

このプログラムに参加した経験と知識は、自分の国に戻った後も活用しようと思っています。例えば、タイにおけるテクノロジーと伝統文化の共存について真剣に考えようと思っています。将来、チャンスがあれば、京都大学に留学したいと思っています。日本とタイの間の良好な関係を保つことに貢献したいと思っています。